

和歌山東南ロータリークラブ 【週報】

会長 小林一三 幹事 土屋一博 会報委員長 松田敏明

事務局 E-Mail : rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:ホテルパローム紀の国 第1,第2,18:30~(夜) 第3,第4,第5,12:30~(昼)



「先週例会報告」会場監督 山本将人

ゲスト・ビジターはございません

《 会長運営方針・会長挨拶 》 小林一三 会長

和歌山東南ロータリークラブ 2025~2026 年度運営方針



RI会長 メッセージ「よいことのために手を取りあおう」

2640地区ガバナー 基本方針 「透明性のある地区事業を重視する」

クラブ スローガン 「仲間とともにロータリーに夢中になろう」

今年度は、和歌山東南ロータリークラブ創立55周年を迎えます。

1971年(昭和46年)2月20日に創立、チャーターメンバーは25名でした。

今まで先輩ロータリアンが、ロータリーの奉仕の理念のもと積み上げてきた和歌山東南ロータリークラブ仲間との親睦、オリジナルの奉仕事業、姉妹クラブとの深い友情関係をしっかりと引き継ぐとともに、会員の皆様一人一人が、ロータリーの目的「奉仕の理念(奉仕の理想)を奨励し、育むことである」をあらためて意識し、**記憶に残る年度となるような会運営をめざしていきます。**

そこで次の目標を掲げたいと思います

1. 地域に喜ばれる「意義ある奉仕事業」ができるように、手を取りあえる仲間を増やことに力を注力していきたいと思います。
2. 多忙な会員が貴重な時間を使って参集する例会を緊張感があって有意義で楽しいものとなるように工夫していきたいと思います。
3. 社会奉仕事業において、他団体とのパートナーシップを模索し、ロータリークラブへの入会、クラブ活性化に繋げたいと考えています。
4. 和歌山東南ロータリークラブの財産である姉妹クラブ(台北東南RC、熊本東南RC)と **さらなる友情**を深め、国際奉仕事業で協力できればと考えます。

会長を務めさせていただきます私が誰よりもロータリーを楽しみ、夢中になってみようと考えております。会員の皆さまも一緒に夢中になってみませんか。

「あいさつ」

今期 クラブ会長をやらせていただきます小林一三です。

私が考えるロータリークラブの会長の役割はなんなのか

ロータリーロゴの歯車がクラブ(「手に手をとって」で歯車を作ってますよね)にたとえると、歯の一つ一つが会員であり、クラブ会長も皆様と同じ形、大きさの歯です。たまたま、私の歯が回転して一番上の位置に来た(まるでルーレットの当り位置)ことからクラブ会長をさせていただくことになりました。

そこで、会長がしなければならない役割は、クラブ歯車が摩擦少なく、スムーズに回転できるように注す潤滑油ではないかと思えます。クラブ運営(歯車のスムーズな回転)は、歯である会員みなさまの全員の協力があってはじめて可能です。

一年間、潤滑油役を務めさせていただきますので、会員のみなさま、今期の運営方針に賛同していただきご協力いただけませんか。よろしくお願い致します。

本日の出席報告										
会員総数	33名	7月 2日	出席者	出席率	寄付金	ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリー 財団	東南 育英会	55周年 BOX
出席免除会員	4名		23名	63.89%	累計	217,000	0	0	50,000	80,000



2025—2026年度
役員・理事の皆様

「会長バッジ交換」

赤在直前会長より小林会長へ



「幹事バッジ交換」

中岡前幹事より土屋幹事へ



《 幹事報告 》 土屋一博 幹事

- ① 今年度お誕生日お祝い、結婚記念日お祝いの記念品は
 - ・本人お誕生日「季節の美味しいフルーツなど 岸武青果」
 - ・配偶者お誕生日「人気のお菓子の詰め合わせ サブール」
 - ・結婚記念日御祝記念品「季節の鉢花 花工房シェーンビツテ」
- ② 3件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
 - ・ロータリー文庫HP利用方法 2025-26年度ユーザー名、パスワードのお知らせ他、ロータリー全般の資料(手続要覧、ガバナー月信等)をご覧ください。
 - ・薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」企画広告 わかやま新報 掲載新聞(2025年6月20日、社会奉仕委員会(奉仕会計)より広告費支出)
 - ・那智勝浦RCより 会員の後 誠介さんが企画した絵本「川がパンクしちゃった!(知ってる? 2011年に紀伊半島でおこったこと)」が出版されました。との案内のチラシが届いております。
- ③ 2025-26年度 ガバナー事務所より開所のお知らせ 開所日:7月1日(火)
住所:和歌山市美園町3-34 けやき ONE 301号、TEL:426-2640、FAX 426-2660、HPアドレス、<http://www.rid2640g.com/kitano/>、E-mail:kitano@rid2640g.com
- ④ ロータリーレート 7月は1\$ = 145円です。



《 幹事報告 》 土屋一博 幹事

- ⑤ 2025-26 年度 概況・活動計画書を皆様のラックへ本日、配布いたしましたので、お目通しいたぎますようよろしくお願いいたします。尚、会員名簿(住所・携帯番号等)が掲載されておりますので、お取り扱いにはご配慮 お願い申し上げます。
- ⑥ 2024-25 年度野村ガバナー事務所 6 月 30 日で閉所のお知らせが届いております。7 月 1 日からは 8 月 31 日を目安に直前ガバナー事務所として残務処理を行います。とのことです。
- ⑦ 本日例会終了後、定例理事会を開催致します。役員・理事の皆様、宜しくお願い致します。



♪ 7 月 本人・配偶者お誕生日お祝い ♪ ♪おめでとうございます。 ♪

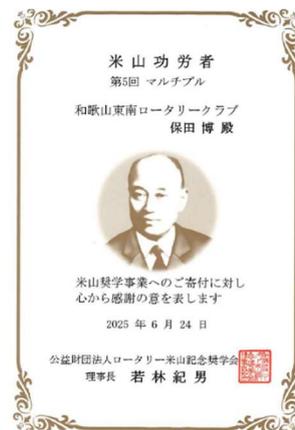


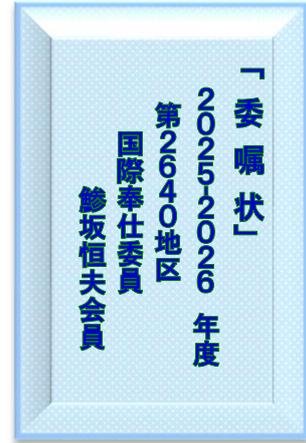
♪ ソング斉唱 ♪

山田ソング委員長・中曾クラブ奉仕委員長
「君が代」「われ等和歌山東南ロータリー」
「Birthday SONG」



《 表彰 》 第 5 回 マルチプル米山功労者 保田 博会員





「乾杯の挨拶」

寺下副会長



「東南育英会へ寄付」

東南会ゴルフ同好会より



「2025-26 年度 役員・理事 今期運営方針発表」

各委員会活動計画は7月2日にお配りしました活動計画書をご覧ください。



中曽クラブ奉仕委員長



塩崎職業奉仕委員長



手拝社会奉仕委員長



登立国際奉仕委員長



谷口青少年奉仕委員長



竹中55周年実行
 委員長



「司会進行」
 山本会場監督

《 ニコニコ箱報告 》 鯨坂恒夫 会計

役員・理事・委員長(寺下会員・土屋会員・山田会員・赤在会員・山本会員・中曾会員・坂本会員・松田会員・吉田会員・塩崎会員・手拝会員・登立会員・岸会員・谷口会員・竹中会員・鯨坂会員)
今期1年、皆様のご協力 よろしくお祝い申し上げます。

小林君：一年間 よろしくお祝いします。

土屋君：今期 幹事をさせていただきます。よろしくお祝いします。

平君：小林丸の門出を祝して。

山田君：会長、幹事、皆様 よろしくお祝い致します。

谷口君：小林会長、土屋幹事、1年間宜しくお祝いします。

手拝君：一年間よろしくお祝いします。

本人お誕生日お祝い：竹中君、平君、赤在君、小林君。

配偶者お誕生日お祝い：吉田君、鯨君。



《 東南青英会 》

東南会ゴルフ同好会一同：同好会員並びにゴルフ参加の皆様よりご寄付いただきました。
ありがとうございました。

《 55周年 BOX 》

竹中君：小林会長、土屋幹事 がんばってください。55周年よろしくお祝いします！

保田君：今期初例会、会員皆様 55周年ですね、よろしく。

辻本君：小林会長、土屋幹事 一年間よろしく。

小林君：55周年 成功させましょう。

土屋君：今期初例会、小林丸の出航です。

山口君：小林丸 55周年おめでとう！赤在丸、幹事、委員長の皆様、御苦労さまでした！

赤在君：小林会長、土屋幹事、1年間宜しくお祝い致します。

中岡君：小林会長、土屋幹事さん、ガンバって下さい。

吉田君：小林会長、土屋幹事、一年間頑張ってください。

鯨君：小林君 ガンバッテ！

中曾君：小林会長、土屋幹事、会員の皆様、本年度もどうぞ宜しくお祝いします。

寺下君：小林会長さん、土屋幹事さん、1年間宜しくお祝いします。

2025年ロータリー国際大会の最終日には、現在と未来のロータリーのリーダーにスポットライトが当てられました。

MY ROATRY ニュース&特集記事 27-Jun-2025 文:Etelka Lehockzy

カナダ・カルガリーで開催された2025年ロータリー国際大会は、親睦と若返りの精神に包まれて幕を閉じました。閉会式では、国際ロータリー会長のステファニー・アーチック氏が登壇し、会員同士のつながりの力を再認識するよう呼びかけました。

「ロータリー最大の力は、ほかでもない会員である皆さん一人ひとりです。でも、私たちは仲間がいてこそ強くなれます。目標や戦略について頻繁に話しても、友情や励ましがなければ、それらは実を結びません。私たちがここに「居場所」を見つけてこそ、ロータリーの力が発揮されます。ロータリーは私たちの大切なコミュニティなのです」

次期会長として2025年6月半ばに選出されたフランチェスコ・アレツツォ氏など、2025-26年度のリーダーたちも登壇。アレツツォ氏は、2025-26年度会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」(Unite for Good)に対する強い思いを語りました

「このメッセージは、すべての会員の参加を促すものですが、会員だけでなく、地域の行政機関やほかのボランティア団体なども巻き込むこと、つまり“参加者の基盤を広げる”ことを意味します。結束を促し、ワクワクした気持ちにさせ、世界だけでなく自分自身も変えるような壮大な夢を、一緒に描きましょう」。アレツオ会長がこう話すと、会場からは大きな拍手が沸きました。

大会最終日の午前中、参加者たちはインパクトを最大限にもたすためのさまざまな方法を学びました。「The Amazing Peace Race」と題する分科会では、「積極的平和の 8 つの柱」をクラブの活動にどう取り入れるかが議論されました。「Literacy Alive」と題する分科会では、ベリーズにおける子どもの読解力の早期育成の成果が紹介されました。

とりわけ多くの人が詰めかけたのが、「人身売買撲滅のロータリー行動グループ」が主催する分科会です。このグループは世界各地で人身売買と闘っており、今大会ではカルガリー中心部に「ピースポール」（平和の柱）を設置したことで注目されました。分科会では、カナダの非営利団体「OneChild」の創設者兼会長であり、2025 年ノーベル平和賞の候補にもなっているシェリル・ペレラさんが登壇。彼女は 10 代の頃、自らの意思でスリランカの捜査協力者（おとり役）となり、児童買春の加害者の摘発に協力した体験を語りました。

「児童売買の現場を内側から見たいと思いました。政府の関係部署に連絡して潜入捜査を見学できないかどうか聞いたら、“おとり役をやってくれるなら”と言われたんです」。

この体験が、彼女が「OneChild」を立ち上げるきっかけとなり、今では子どもや若者たちが人身売買に関する啓発活動に立ち上がるムーブメントを生み出しています。

会場内の「友愛の家」では、第 5360 地区（カナダ）が設置した高さ約 6 メートルの大型ティーピー（先住民の伝統的住居）がひととき目を引いていました。この展示では、先住民コミュニティが直面する課題について学べる数々の工夫が凝らされていました。

「この展示を出せたことをとても誇りに思います。でも、これで最後にしたくはありません。世界中のロータリアンが、地元の先住民ともっと協力できるよう後押ししたい」と、2023 年に「世界を変える行動人」の表彰を受けたカム・スチュワートさんは語ります。

大会最終日の終わり、2025 年カルガリー国際大会委員長であるブリン・スタイルズ氏は、今大会の成功をこう振り返りました。

「本当にたくさんの人から、この会場が大好きだという声をいただきました。この建物には、温かくもてなす雰囲気があります。カルガリーの街も皆さんにも気に入っていただけたようです。多くの方から絶賛の言葉をいただきました」

すでに多くの参加者は次の大会に目を向けています。2026 年の台北国際大会の委員長、アンドレアス・フォン・メラーさんは、次回開催地への熱い招待の言葉で締めくくりました。

「台湾の 34,000 人のロータリー会員が皆さんをお待ちしています。台湾の文化、壮大な自然、国立劇場、美しい寺院の数々をぜひご体験ください。2026 年国際大会で、一生の思い出となる体験ができるはずです」

